



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月30日  
上場取引所 東

上場会社名 NECキャピタルソリューション株式会社  
 コード番号 8793 URL http://www.necap.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今関 智雄  
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション部長 (氏名) 児玉 誠一郎 (TEL) 03(6720)8400  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	159,304	8.5	11,987	133.6	11,985	130.4	5,622	112.4
29年3月期第3四半期	146,864	△4.4	5,131	6.5	5,202	1.7	2,647	△23.7

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 9,518百万円(126.2%) 29年3月期第3四半期 4,207百万円(69.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	261.11	—
29年3月期第3四半期	122.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	886,903	108,549	9.4
29年3月期	860,482	108,821	9.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 83,799百万円 29年3月期 79,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
30年3月期	—	22.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	210,000	△2.7	12,500	107.5	12,500	91.2	5,500	56.4	255.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	21,533,400株	29年3月期	21,533,400株
30年3月期3Q	430株	29年3月期	398株
30年3月期3Q	21,532,991株	29年3月期3Q	21,533,002株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお予想数値に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。  
(四半期決算短信補足説明資料は、当社ホームページで同日開示しております。)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	9
(1) セグメント別の状況	9
(2) 営業資産残高	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業業績を背景に、10月には日経平均株価が過去最長となる16連騰を記録、また衆議院選挙の与党圧勝に伴う安心感から、年末の日経平均終値が26年ぶりの高値となる等、景況感は大きく改善しております。一方、国外においては、引き続き北朝鮮情勢の緊迫化や、中国を中心とした新興国経済の成長懸念、12月のFOMCにおける追加利上げ決定等、国内景気に大きな影響を及ぼす可能性のある不確定要素も多く、今後の動向を注視する必要があると考えております。

当社グループの属するリース業界においては、業界全体の平成29年12月累計のリース取扱高は、前年同期比5.2%減の3兆4,013億円と、前年同期を下回る状況となっております。(出典：公益社団法人リース事業協会「リース統計」)

このような状況下において、当社賃貸・割賦事業では、主要顧客である官公庁等との良好な取引関係を活かして取引規模の確保に努めると共に、従来から実施している相談型営業の強化や小口リースの拡大により、当第3四半期連結累計期間における契約実行高、成約高共に前年同期を上回る結果となりました。

ファイナンス事業においても、従来のNECグループ商流に留まらない幅広い顧客に対するファイナンス案件の取り組みや、メガバンクをはじめとした各金融機関とのパートナーシップ強化、個別ファクタリングの受注強化を行ったことから、契約実行高、成約高共に前年同期を上回りました。

リサ事業においては、大型の営業投資有価証券の売却や、債権投資の回収益等があったことにより、売上高、営業利益共に前年同期を大幅に上回りました。

また、その他の事業においては、満了解約売上や商品売上が例年以上に計上されたものの、販売用不動産の評価減や営業投資有価証券の減損を計上した結果、営業損失となりました。

経営成績としては、上記の事業活動が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回っております。営業利益、経常利益についても売上高の増加等により前年同期比大幅増となり、非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した後の親会社株主に帰属する四半期純利益についても前年同期を大幅に上回りました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,593億4百万円(前年同期比8.5%増)、営業利益119億87百万円(同133.6%増)、経常利益119億85百万円(同130.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益56億22百万円(同112.4%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①賃貸・割賦事業

賃貸・割賦事業の売上高は、前年同期比2.9%減の1,222億18百万円となったものの、営業利益は貸倒引当金戻入額の計上等により、前年同期比7億79百万円増加し36億98百万円となりました。

#### ②ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は、配当収益や金利収入等により前年同期比34.8%増の48億1百万円となり、営業利益は貸倒引当金繰入額の増加等があったものの、前年同期比7億95百万円増加の25億14百万円となりました。

#### ③リサ事業

リサ事業の売上高は、ファンドによる営業投資有価証券の売却があったことから前年同期比117.4%増の168億53百万円となり、営業利益は前年同期比60億98百万円増加し76億円となりました。

#### ④その他の事業

その他の事業の売上高は、賃貸取引の中途解約に伴う物件売却や商品売上があったことから前年同期比60.2%増の154億66百万円となったものの、営業損益については、販売用不動産の評価減や営業投資有価証券の減損を実施したこと等により、前年同期比7億38百万円悪化し、5億6百万円の営業損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて264億20百万円増加し、8,869億3百万円となりました。主な要因としては、リース債権及びリース投資資産が74億42百万円減少したものの、営業貸付金が318億1百万円増加したことによります。

負債は、前連結会計年度末に比べて266億92百万円増加し、7,783億53百万円となりました。主な要因としては、コマーシャル・ペーパーが130億円減少したものの、社債（1年内償還予定の社債を含む）が200億円、買掛金が91億53百万円、短期借入金が55億57百万円増加したことによります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて2億71百万円減少し、1,085億49百万円となりました。主な要因としては、利益剰余金が、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益等により46億75百万円増加したものの、非支配株主持分が49億19百万円、その他の包括利益累計額が27百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年10月30日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,950	30,175
割賦債権	15,891	18,240
リース債権及びリース投資資産	404,535	397,093
貸貸料等未収入金	19,315	20,987
営業貸付金	212,962	244,763
買取債権	20,725	19,319
営業投資有価証券	11,240	13,396
販売用不動産	28,206	30,500
その他	16,839	14,600
貸倒引当金	△7,394	△5,170
流動資産合計	766,272	783,907
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産	45,593	46,608
社用資産	4,141	4,609
有形固定資産合計	49,735	51,218
無形固定資産		
賃貸資産	1,078	1,110
のれん	4,377	3,721
その他	2,433	1,707
無形固定資産合計	7,890	6,539
投資その他の資産		
投資有価証券	27,125	37,213
その他	11,544	10,059
貸倒引当金	△2,086	△2,034
投資その他の資産合計	36,584	45,238
固定資産合計	94,209	102,995
資産合計	860,482	886,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	417	506
買掛金	14,273	23,427
短期借入金	49,343	54,901
1年内返済予定の長期借入金	111,602	118,587
1年内償還予定の社債	-	10,000
コマーシャル・ペーパー	152,000	139,000
債権流動化に伴う支払債務	6,399	6,335
未払法人税等	197	555
賞与引当金	671	983
その他	19,414	18,692
流動負債合計	354,321	372,989
固定負債		
社債	70,000	80,000
長期借入金	305,672	300,143
債権流動化に伴う長期支払債務	10,729	14,113
退職給付に係る負債	2,275	2,315
その他	8,662	8,791
固定負債合計	397,339	405,364
負債合計	751,661	778,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,776	3,776
資本剰余金	4,648	4,648
利益剰余金	69,847	74,522
自己株式	△0	△0
株主資本合計	78,271	82,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	917	789
繰延ヘッジ損益	△219	△134
為替換算調整勘定	199	202
退職給付に係る調整累計額	△17	△4
その他の包括利益累計額合計	880	853
非支配株主持分	29,669	24,750
純資産合計	108,821	108,549
負債純資産合計	860,482	886,903

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	146,864	159,304
売上原価	129,331	135,379
売上総利益	17,532	23,924
販売費及び一般管理費	12,401	11,936
営業利益	5,131	11,987
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	61	55
持分法による投資利益	68	-
受取損害賠償金	2	62
投資事業組合等投資利益	3	47
投資有価証券売却益	-	7
その他	78	33
営業外収益合計	219	211
営業外費用		
支払利息	23	17
持分法による投資損失	-	55
為替差損	36	104
投資事業組合等投資損失	63	28
その他	25	7
営業外費用合計	148	214
経常利益	5,202	11,985
特別利益		
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	70	-
特別利益合計	70	-
税金等調整前四半期純利益	5,272	11,985
法人税、住民税及び事業税	1,118	1,934
法人税等調整額	214	426
法人税等合計	1,332	2,360
四半期純利益	3,940	9,625
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,292	4,002
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,647	5,622



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	3,940	9,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	172	△192
繰延ヘッジ損益	203	78
為替換算調整勘定	△112	2
退職給付に係る調整額	77	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△73	△8
その他の包括利益合計	267	△106
四半期包括利益	4,207	9,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,806	5,595
非支配株主に係る四半期包括利益	1,400	3,922

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	125,930	3,562	7,753	9,655	146,901	△37	146,864
セグメント利益	2,919	1,719	1,501	232	6,373	△1,241	5,131

(注) 売上高の調整額△37百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益の調整額△1,241百万円は、セグメント利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	賃貸・割賦 事業	ファイナン ス事業	リサ事業	その他の 事業	計		
売上高	122,218	4,801	16,853	15,466	159,339	△35	159,304
セグメント利益又は 損失(△)	3,698	2,514	7,600	△506	13,307	△1,319	11,987

(注) 売上高の調整額△35百万円は、主にセグメント間取引による相殺額であります。また、セグメント利益又は損失の調整額△1,319百万円は、セグメント利益又は損失と四半期連結損益計算書の営業利益との差額であり、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. その他

## (1) セグメント別の状況

前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	125,930	114,915	11,014	2,254	8,760	5,841	2,919
ファイナンス事業	3,562	—	3,562	786	2,776	1,056	1,719
リサ事業	7,753	3,453	4,299	248	4,051	2,549	1,501
その他の事業	9,655	7,563	2,092	118	1,973	1,740	232
調整	△37	△8	△28	—	△28	1,213	△1,241
合計	146,864	125,923	20,941	3,408	17,532	12,401	5,131

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

(単位:百万円)

セグメントの名称	売上高	売上原価	差引利益	資金原価	売上総利益	販売費及び一般管理費	営業損益
貸貸・割賦事業	122,218	111,877	10,340	2,109	8,231	4,533	3,698
ファイナンス事業	4,801	25	4,776	869	3,906	1,392	2,514
リサ事業	16,853	5,815	11,037	267	10,770	3,169	7,600
その他の事業	15,466	14,295	1,170	101	1,068	1,574	△506
調整	△35	△8	△26	26	△53	1,266	△1,319
合計	159,304	132,005	27,298	3,374	23,924	11,936	11,987

(注) 1. セグメントの区分は、主な営業取引の種類により区分しております。

2. 各セグメントの主要品目は以下のとおりであります。

- ①貸貸・割賦事業……情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の貸貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等
- ②ファイナンス事業…金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等
- ③リサ事業……株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザー業務
- ④その他の事業……物品売買、貸貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、手数料取引、ベンチャー企業向け投資、ヘルスケア関連及び太陽光発電売電業務等

## (2) 営業資産残高

セグメントの名称	前第3四半期 連結会計期間 (平成28年12月31日)		当第3四半期 連結会計期間 (平成29年12月31日)		増減 金額(百万円)	(参考) 前連結会計年度 (平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)		金額(百万円)	構成比(%)
貸貸・割賦事業	449,601	60.2	462,642	57.2	13,041	466,689	60.8
ファイナンス事業	207,845	27.8	255,667	31.6	47,822	221,207	28.8
リサ事業	52,519	7.0	63,793	7.9	11,273	52,978	6.9
その他の事業	37,531	5.0	26,231	3.3	△11,299	27,042	3.5
合計	747,497	100.0	808,334	100.0	60,837	767,917	100.0

(注) 当第3四半期連結会計期間におけるリサ事業の営業資産残高の内訳は、営業貸付金が6,756百万円、買取債権が19,319百万円、営業投資有価証券が11,251百万円、販売用不動産が6,414百万円、貸貸資産が410百万円、投資有価証券が19,641百万円となっております。